

『メガネ型デバイス及び映像伝送システムと連動した遠隔地警備サポートシステム』 実証実験の開始について

西日本電信電話株式会社 岐阜支店（以下、NTT西日本 岐阜支店）、警備会社（日本ガード株式会社）は、警備・防犯対策強化を目的とする「メガネ型デバイス及び映像伝送システムと連動した遠隔地警備サポートシステム」の実証実験を開始します。

1. 実証実験の背景および目的

無人店舗における窃盗の多発、年々下がる軽犯罪の検挙率、年間13万件以上の住宅への侵入窃盗犯罪といった社会問題に対して、既に提供している防犯対策に加え有事の際に現場に急行する警備員にメガネ型デバイスを携帯させ、ガードセンター（以下、センター）に現場の映像と音声をリアルタイムで伝えることにより、被害状況の証跡を映像として確認及び保存することの有効性を実証実験により検証を行います。

2. 実証実験の概要

本実証実験は、警備員がメガネ型デバイスを携帯し、タブレット端末およびモバイルルーター等にてインターネット網に接続し、NTT西日本のクラウドサービス「Bizひかりクラウド Web会議サービス」を介してセンターに映像を配信し、警備員、センター職員による映像情報を見ながらの通話により、早急に適切な対応・解決を行う。またセンターでは映像情報の保存を行うことにより、事後の対応にも活用します。

3. 実証実験の特長

- (1) メガネ型デバイスと連動したリアルタイム映像・音声共有・保存を実施
警備員がメガネ型デバイスを装備することにより、静止画像だけではなく現場のリアルタイムな状況を動画にてセンターへ送信し、それらの情報を確認しながら通話を行えます。また、映像・音声ともに保存が可能です。
- (2) 警備業務に支障がなく映像・音声をセンターに共有
メガネ型のため、カメラを持つ必要がなく作業負荷が軽減されます。また、骨伝道ヘッドホンのため、耳をふさぐず周りの音も聞くことができ、異常事態の発生にも対応ができます。
- (3) 高セキュリティ及びネットワーク低帯域環境化での通信を実現
独自通信方式と高度な暗号化技術により映像・音声をセキュアに通信します。また、独自の技術により、低帯域環境下(28.8Kbps)での利用が可能です。

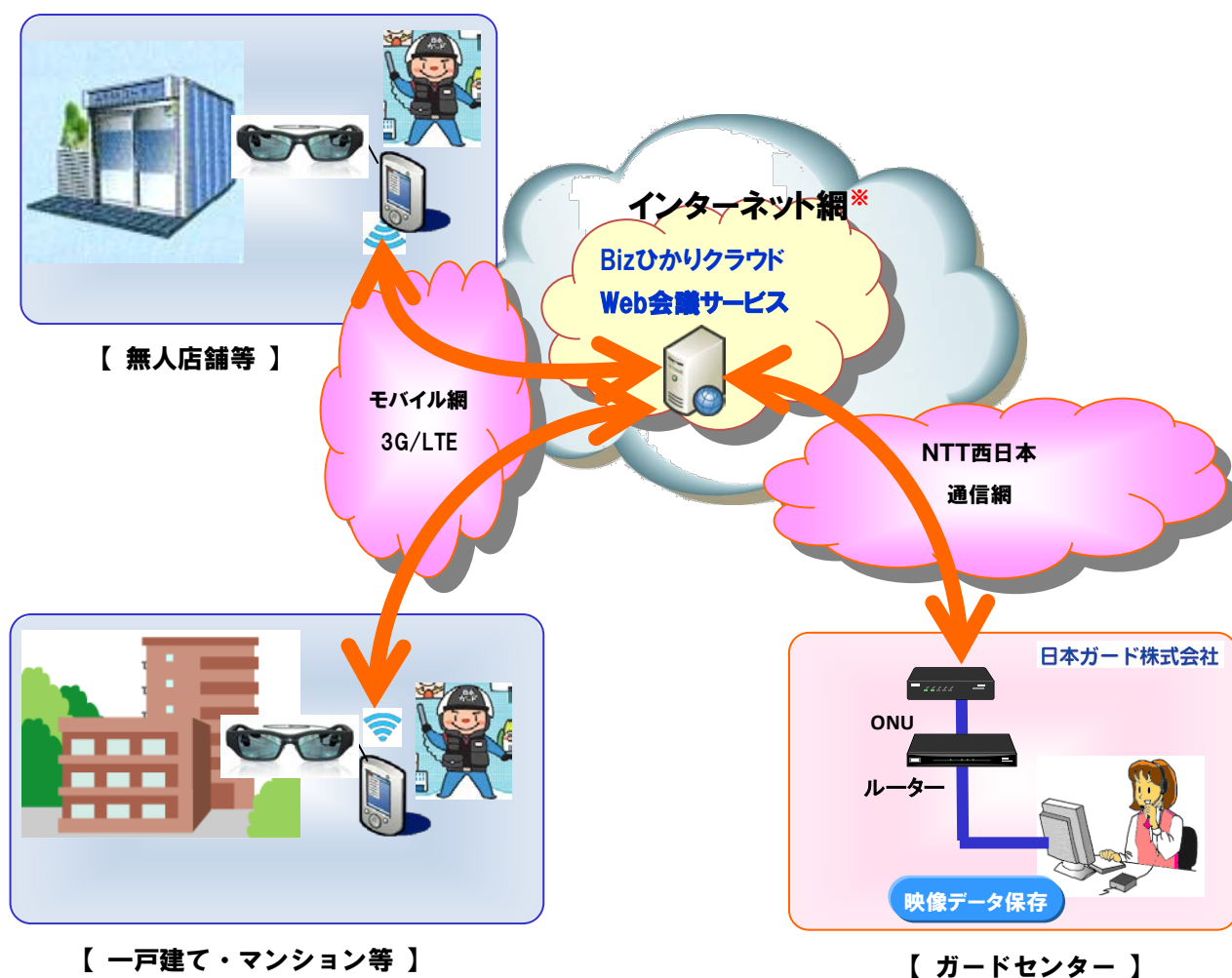
4. 実証実験期間

平成25年1月11日（金）から約2週間

ニュースリリースに記載されている内容は、報道発表時のものです。
最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします。

(別紙) 実証実験システムイメージ



特徴

- ①メガネ型デバイス（小型・軽量のメガネに高精細なビデオカメラ、骨伝導式のスピーカー、マイクを内蔵）で撮影した映像情報・音声をセンターへリアルタイムに送信し、通話を行いながら対応を実施。
- ②センターにて駆付け現場の映像情報・音声を保存することにより、事後対応の迅速化を図る。
- ③警備員、センター職員にてリアルタイムで映像情報を共有し、異常事態の早期対応・早期解決を実施。

※インターネットのご利用には、フレッツ光等のインターネット接続サービスのご契約・料金、及びプロバイダーのご契約・料金が別途必要です。